学校番号	２１８

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	家庭総合　自立・共生・創造（東京書籍）						
副教材等	家庭科５５デジタル＋（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう

・生活の様々な現象や課題を講義・実験・実習・演習形式等、さまざまな授業形態を通して、自らが主体的に考え、行動し、実際の生活の場で実践的に生かせるようにしましょう。

・また、家庭においてあたりまえの日常生活を丁寧にすごすこと、新聞を読むこと、ニュースを視聴すること、これらのことが、家庭科の学習において大切な家庭学習になります。

・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

〝生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに，それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。

（2）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。

（3）様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第6章 『食生活をつくる』 1食生活の課題について考える。 2食事と栄養・食品。	・よりよい食習慣を身 につけ，生涯を健康に過ごすために，食生活の課題や食事の意義，食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。 ・	a:食生活を取り巻く課題など，食と人との関わりについて理解している。ライフステージの特徴や課題に着目し、栄養の特徴について理解している。 b: 主体的に食生活を営むことができるよう健康に配慮した自己と家族の食事について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c: 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，食生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査作品レポートなど	作品プリントレポートなど	授業態度学習課題の提出レポートなど
	第7章 『衣生活をつくる』 4被服をつくる	・ミシンの基本的な使用方法を習得すると共にエプロン製作を行い、被服構成や被服製作について科学的に理解する。	a: 被服製作について科学的に理解している。衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。 b:被服製作を通して、よりよい作品制作や装飾等について考え、それを表現している。 c: ミシンの使用法や被服構造について関心を持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。	定期考査作品レポートなど	作品プリントレポートなど	授業態度学習課題の提出レポートなど

2学期	第7章 『衣生活をつくる』 3被服を管理する 6これからの衣生活	・健康と安全，環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 ・衣生活を取り巻く課題など，被服と人との関わりについて理解を深めている。	a：手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう，管理や手入れの工夫について理解する。全ての人が健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインの被服について理解を深める。 被服製作について科学的に理解している。衣生活の自立に必要な技能を身に付けている。 b：主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適，機能的な着装について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c： 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，衣生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査作品レポートなど	作品プリントレポートなど	授業態度学習課題の提出レポートなど
	第6章 『食生活をつくる』 4生涯の健康を見通した食事計画。 5調理の基礎。	・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身に付けるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。 ・配膳やマナーに関心をもつ。 ・自分と家族の食生活を計画・管理できるようになるために，各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し，「健康によい，栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを理解する。	a：おいしさの構成要素について科学的に理解している。目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。 b：主体的に食生活を営むことができるよう健康に配慮した自己と家族の食事について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c：様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，食生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査作品レポートなど	作品プリントレポートなど	授業態度学習課題の提出レポートなど

3学期	第8章 『住生活をつくる』 1住生活の変遷と住居の機能	・生涯を見通した住生活について考え，将来に向けて自立するために，私たちの毎日の生活を支え生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。	a：住生活を取り巻く課題など，住まいと人との関わりについて理解を深めている。 ライフステージの特徴や課題に着目し，住生活の特徴について科学的に理解している。高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。 b：主体的に住生活を営むことができるようライフステージと住環境に応じた住居の計画について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c：様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，住生活の科学と文化について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査作品レポートなど	作品プリントレポートなど	授業態度学習課題の提出レポートなど

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度